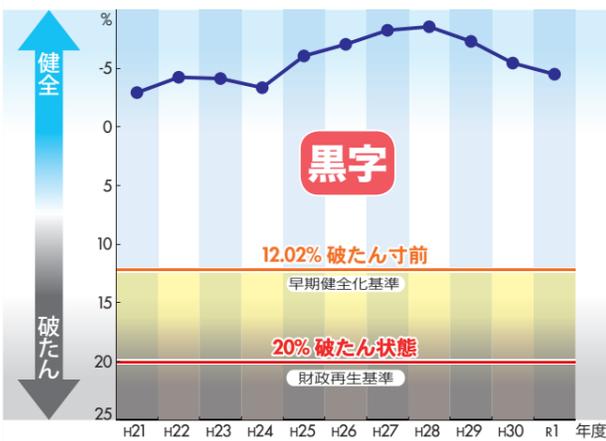


# 健全化判断比率の状況

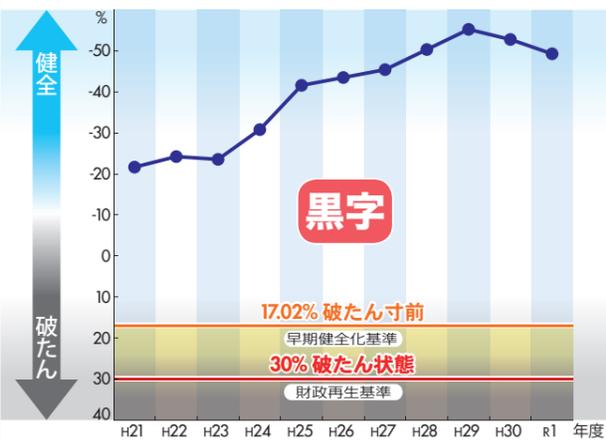
市の財政が健全かどうかを表す指標です。令和元年度予算は、4指標全てにおいて良好な水準にあり、健全で余力のある状態を維持しています。 H:平成 R:令和

## 実質赤字比率



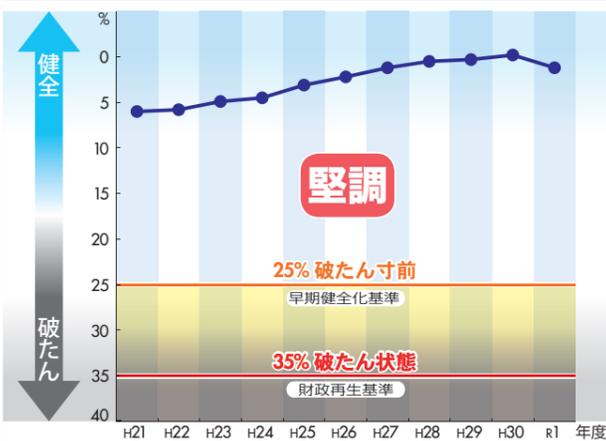
家計に例えると、「年収に対する赤字の割合」を示しています。

## 連結実質赤字比率



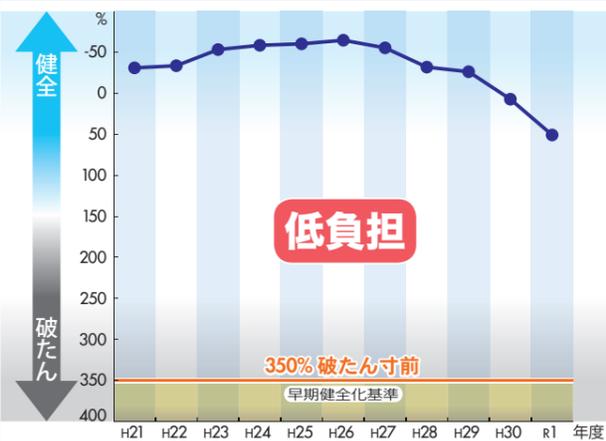
家計に例えると、「同居している家族全員の年収総額に対する赤字総額の割合」を示しています。

## 実質公債費比率



家計に例えると、「年収に対するその年のローン返済額の割合」を示しています。

## 将来負担比率



家計に例えると、「年収に対するローン残高など将来支払わなければならない額の割合」を示しています。

令和元(2019)年度

新年度の

# 箕面市の台所事情と 予算の使いみち



令和元(2019)年度予算は、2月19日から3月26日まで開かれた市議会定例会で審議の上、可決されました。

問政策推進室 ☎724・6718 FAX724・6971、財政経営室 ☎724・6708 FAX723・2096

予算全体の規模 < > の数値は、前年度との比較を表しています。

## 一般会計の予算額

728億6000万円(+146億8000万円、+25.2%)

北大阪急行線延伸整備、環境クリーンセンター基幹改良工事、消防拠点の整備、保育所の増加や10月以降の幼児教育・保育無償化などにより予算額は増加しました。

## 全会計の予算額 (特別会計・企業会計を含む)

1812億3700万円(+354億3900万円、+24.3%)

競艇事業会計において、SG競走(グランプリ)の開催年に当たるため、予算規模が拡大しました。

## 予算編成概要

令和元年度当初予算は、北大阪急行線の延伸及び新駅周辺整備の本格化や、環境クリーンセンター基幹改良工事、幼児教育・保育無償化などに伴い、前年度と比べて25%増加しましたが、財政の健全性を示す経常収支比率は97.7%と、11年連続で経常黒字(経常収支比率100%以下)を達成しています。

「安心・支え合い最優先」、「子育てしやすさ日本一」、「緑・住みやすさ最先端」の実現に向けて、子どもから高齢者まで、あらゆる市民のニーズに気を配り、未来に向けた

積極投資を行うメリハリのある予算としています。防災体制のさらなる充実や健康長寿をめざした大人のスポーツ人口を増やす取り組み、子どもの見守り体制の強化、北大阪急行線の延伸工事や新駅周辺施設・アクセス道路の整備などを進めます。

箕面市が50年後、100年後も市民に愛される魅力的なまちであり続けることができるよう、今後も財政規律の堅持と未来への投資の両立をはかっていきます。

- ごみ収集、清掃工場の管理運営 など

31,215円



### ごみ処理・リサイクル

- 公園施設の管理や修繕
- 道路の維持補修 など

17,348円



### 公園や道路などの維持管理

- 各種がん検診
- インフルエンザ、肺炎球菌など予防接種
- 子どもの医療費助成 など

23,538円



### 健康

- 高齢者医療、介護保険制度への助成
- 生涯学習施設の管理運営 など

31,563円



### 高齢者福祉・生涯学習

- 保育所施設の管理運営
- 民間保育園・認定こども園への運営補助 など

35,792円



### 保育所・認定こども園

- 小・中学校、幼稚園の管理運営
- 児童・生徒の放課後活動支援 など

35,391円



### 教育

## 一般会計予算の市民1人当たりの 主な使いみち





令和元(2019)年度

# 新年度の 箕面市の台所事情と予算の使いみち

## 市の重点施策

### I 安心・支えあい 最優先

市民の安全・安心の確保と、地域の支えあいを醸成していく取り組みを進めます



#### 1 防災体制のさらなる充実

● 全市域の屋外防災スピーカーを、広い範囲によりクリアな音質で音を伝える新型高性能スピーカーに一斉更新し、昨年来進めてきたレッドゾーン（土砂災害特別警戒区域）内の全ての戸建て住宅への戸別受信機設置と併せて、避難情報伝達の強化をはかります。  
※レッドゾーンとは、土砂災害が発生した場合、家屋が倒壊する危険がある区域のことです。

予算額:5億228万円

#### 2 総合水泳・水遊場の整備

● 夏も冬も1年を通じて快適な水温に保つ屋内温水プールと屋外レジャープールを併設する総合水泳・水遊場の整備に着手します。

予算額:5億7946万5000円

#### 3 将来の消防需要に基づく 消防力の保全

● 人口増や高齢化の進展による消防・救急需要の増加に対処できる消防力を確保するため、箕面市域の消防署を3署から段階的に5署まで増やす計画に基づいて、東部地域（豊川支所敷地内）の新消防署の整備を進めます。

予算額:7億155万1000円

#### 4 健康長寿をめざして、 大人のスポーツ人口を増やす

● シニアや勤労世代のスポーツ人口を増やすため、「スポーツ版シニア塾」や「リ・スタート大会」など、さまざまな層をターゲットとした「大人のスポーツ・トライアル事業」を実施します。

予算額:2億2008万6000円



### II 緑・住みやすさ 最先端

豊かな緑を守り、便利で住みやすく、元気で活力ある箕面をめざして、まちづくりを進めます



#### 5 市立病院の移転建て替えに向けた取り組み

● 2024年の開院に向け、新病院の医療機能などの検討を加速し、具体的な病床数や建物形状を決める基本計画第2期の策定に着手します。

予算額:1543万円

#### 1 良好な住環境を守る取り組み

● 都市計画法の地区計画と特別用途地区により、住居専用地域での民泊営業を規制し、箕面市の都市魅力の根源である良好な住環境を守ります。

#### 2 都市計画道路網の見直しと道路整備、安全な道路環境の整備

● 道路ネットワークのミッシングリンクを解消するための都市計画道路網の見直しを完了し、今秋にも都市計画改定の法定手続きに着手します。

予算額:33億1329万9000円

#### 3 北大阪急行線の延伸と新駅周辺のまちづくり

● 着工から3年目となる延伸工事は、引き続き高架や地下構造物、駅舎などを造る工事を進めます。箕面菅野駅、箕面船場阪大前駅の周辺整備において、PFI事業による各種施設の整備などを進めるとともに、指定管理者とともに具体的な運営についての協議を進めます。

予算額:218億7769万2000円



### III 子育てしやすさ 日本一

子育てがしやすく、子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境を整えます



#### 1 一歩先を行く「あたりまえ」の英語教育・ICT教育

● 現在60人の外国人指導助手を74人に増員し、中学校では1学年に1人、小学校では2学年に1〜2人を配置して、全小・中学校、全年で毎日英語に触れる取り組みを継続します。

予算額:4億8805万7000円

● 全小学校の4年〜6年生に1人1台配布したタブレットパソコンの授業での活用を本格化するとともに、モデル校で実施している小学1年〜3年生、中学校での1人1台タブレットパソコンの教育効果の検証を進めます。



#### 2 第四次子どもプランの策定と 「通年の待機児童ゼロ」の実現

● 保育所整備は、第三次箕面市子どもプランの目標値（定員485人増）を超えて定員644人増を完了し、年度初めの待機児童ゼロを達成しました。しかしながら、保育士不足に起因して、0歳児・1歳児の「通年ゼロ」が実現していないため、「全年齢での通年の待機児童ゼロ」をめざし、第四次箕面市子どもプランの策定に取り組みとともに、潜在保育士の復職支援など保育士確保策を実施します。

予算額:57億107万1000円

#### 3 子どもを見守る体制の強化

● 要保護児童とその家庭を支援する専門組織「児童相談支援センター」（昨年4月創設）を、現在の15人からさらに6人増員し、支援に必要な親子に寄り添う体制を確立します。

予算額:1億2624万円



#### 4 子ども体力向上とオリンピック・パラリンピック機運の醸成

● 子ども体力向上のため、ガンバ大阪と連携した「体力サポート事業」を始めとする複数の指導方法を試行して、効果を検証し、効果の高い取り組みを探ります。

予算額:3916万1000円

#### 5 教員の働き方改革の推進

● 学校事務センターの設置、教員の使用場面を徹底的に分析したICT環境の構築、事務支援員の配置による教員の事務作業軽減などにより、教員の時間外勤務の削減を推進します。

予算額:1億717万4000円

#### 6 きめ細かな子育て支援

● 産後うつなどを防止し、良好な子育てのスタートを支援するため、低廉な料金で、助産師の訪問サービスや、産科病院でのケア・サービス（宿泊・日帰り）を受けられる「産後ケア事業」を開始します。

予算額:5億5963万8000円